

協議概要

(会議名)	令和7年度 第1回船橋市特別支援連携協議会
(日時・場所)	令和7年5月29日(木) 14:30~16:30 705会議室
(出席者)	植草学園大学特命教授 佐藤 慎二、船橋市自閉症協会副会長 三川 瑞子、 幼稚園連合会長 尾木 修介、船橋公共職業安定所長 鈴木 ひろ子、 県立船橋特別支援学校長 竹内 登志子、 福祉サービス部長 岡部 佐知子、地域子育て部長 小澤 洋一、 市立船橋高等学校長 近藤 義行、市立船橋特別支援学校長 神田 順子、 小学校長会長 野木 英表、中学校長会長 太田 由紀、 特別支援学級設置校校長会長 中道 恵美子、 特別支援教育研究連盟理事長 生井 敏昭、 教育次長 小栗 俊一、学校教育部長 日高 祐一郎、 市総合教育センター所長 小川 欣弘
(事務局)	金子 勝一、鰐部 裕実、白石 亜希子、宮崎 文香、横内 正隆、星野 沙織、 武田 芳樹

<議題>

乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援ネットワークづくり

<概要>

- ・昨年度の作業部会で新しく作成した「個別の教育支援計画」について事務局から説明。各学校からのアンケート調査を参考に、作成しやすく、活用しやすい、また、「引継ぎのための連絡票」とリンクした「個別の教育支援計画」を完成させた。今年度は「個別の指導計画」の書式の見直しを図ることと、完成した「個別の教育支援計画」の「作成・活用の手引き」と保護者向けリーフレットの作成準備を進めていく。
- ・アンケートの項目として、「どんな機関と共有していますか」という項目を入れてほしい。他機関と共有することを前提とした上で、個別の指導計画を作成してほしい。
- ・アンケートの対象がコーディネーターだと個人の判断で回答してしまい、実際書くことになる担任の声が届かない可能性があるため、対象者についての検討が必要である。
- ・長期目標について、課題となることが書かれていることが多いが、その子の良いところや得意なところを記入する必要があると思う。
- ・特別支援学級や通級指導教室がない学校にとっては、手引きを渡しただけでは分からないので、研修会を実施しながら落とし込んでいく必要がある。

資料 1

- ・手立てが「声かけ」だけで終わらないように、様々な手立てがあるという例があるとよい。
- ・中学校は教科担任制なので、担任以外にも関わる先生方で寄せ書きしながら作成する方法があっても良いと感じた。
- ・手引きの中に検査についてもふれてほしい。検査をして何の役に立つのか、どう生かすのか、検査に対する知識がない方もいる。
- ・高校では、学校支援部という部署で週 1 回会議を行っている。専門性が高い職員が中心となり支援を考え、関わる職員に伝達している。作成については、できるだけ活字が少ない方が書く側の負担は少ないと感じている。
- ・幼稚園や保育園でも年々支援を要する子どもの相談は増えている。その中で、誰に相談したら良いのか、どのような支援をしたら良いのか分からないという声が担任の先生からも多くある。診断がないグレーな子どもも含め、情報共有の仕方、早くて分かりやすい支援体制作りができれば良い。
- ・リーフレット作成の流れで、「まずは担任の先生に相談して下さい」ではなく、不登校の児童・生徒、就学前の方、まもなく学校を卒業する方もいるので学校以外の相談先についても触れてもらいたい。

<今後の動き>

事務局で「個別の指導計画」についてのアンケートを作成し、各校のコーディネーターと若年層の通常学級担任を対象にアンケートを実施する。アンケート結果を基に作業部会で「個別の指導計画」の内容、「作成・活用の手引き」とリーフレットの内容を検討し、作成を行う。

船橋市特別支援連携協議会要綱

(目的)

第1条 LD、ADHD、高機能自閉症等を含めた障害のある児童生徒の総合的支援体制の整備に向け、関係諸機関の情報交換・意見交換を行い、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援体制の整備を図るため船橋市特別支援連携協議会（以下「連携協議会」という。）を設置する。

(主催及び事務局)

第2条 連携協議会は、船橋市教育委員会が主催し、事務局は総合教育センター 教育支援室が当たる。

(組織)

第3条 委員は、次に掲げる職にある者をもって組織し、教育委員会が委嘱または任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 親の会関係者
- (3) 医療関係者
- (4) 幼稚園関係者 (市内幼稚園連合会長)
- (5) 労働関係者 (公共職業安定所長)
- (6) 福祉関係者 (市川児童相談所長)
- (7) 県教委関係者 (教育庁葛南教育事務所指導主事)
- (8) 学校関係者 (県立特別支援学校長)
- (9) 健康福祉局 (福祉サービス部長)
- (10) 健康福祉局 (地域子育て部長)
- (11) 学校関係者 (市立船橋高等学校長)
- (12) 学校関係者 (市立特別支援学校長)
- (13) 学校関係者 (市・小学校長会長)
- (14) 学校関係者 (市・中学校長会長)
- (15) 学校関係者 (市・特別支援学級設置校長会長)
- (16) 学校関係者 (市・特別支援教育研究連盟理事長)
- (17) 市教育委員会 (教育次長)
- (18) 市教育委員会 (学校教育部長)
- (19) 市教育委員会 (総合教育センター所長)
- (20) 事務局 (総合教育センター教育支援室長・職員)

(任期)

第4条 委員の任期は1年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長及び副座長)

第5条 連携協議会に座長及び副座長を置き、それぞれ委員による互選とする。

- 2 座長は、会務を掌理する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるとき、又は座長がかけたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 連携協議会は、年間 2 回開催する。

- 2 座長は、会議の議長となり議事を整理する。
- 3 会議の公開については、情報公開条例（平成 14 年船橋市条例第 7 条）、情報公開条例施行規則（平成 14 年船橋市規則第 50 条）、船橋市教育委員会傍聴人規則（平成 10 年船橋市教育委員会規則第 2 号）、及び附属機関等の公開実施要綱を準用する。

(作業部会)

第 7 条 座長は必要に応じ、専門の事項を検討するための作業部会を開催することができる。

- 2 作業部会の委員は、事務局が指名する。

(災害補償)

第 8 条 任命を受けた委員の業務に係る事故については、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例（昭和 42 年船橋市条例第 33 号）の規定を準用する。

(補則)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項については、教育長が別に定める。

附則

平成 18 年 4 月 1 日施行

附則

平成 19 年 2 月 1 日改正

附則

平成 21 年 4 月 1 日改正

附則

平成 22 年 4 月 1 日改正

附則

平成 25 年 4 月 1 日改正

附則

平成 29 年 4 月 1 日改正

附則

令和 5 年 4 月 1 日改正

附則

令和 7 年 4 月 1 日改正

令和 7 年度 船橋市特別支援連携協議会委員 (敬称略)

No.	区 分	所 属 ・ 職 名	氏 名
1	学識経験者	植草学園大学 特命教授	佐藤 慎二
2	親の会関係者	船橋市自閉症協会副会長	三川 瑞子
3	医療関係者	おぐち小児科院長	小口 学
4	幼稚園	幼稚園連合会長 (若松幼稚園理事長)	尾木 修介
5	労働	船橋公共職業安定所長	鈴木 ひろ子
6	福祉	市川児童相談所船橋支所長	島貫 奈津子
7	県教育委員会	県教育庁葛南教育事務所指導主事	渡邊 学
8	特別支援学校	県立船橋特別支援学校長	竹内 登志子
9	市福祉行政	福祉サービス部長	岡部 佐知子
10	市保育行政	地域子育て部長	小澤 洋一
11	高等学校	市立船橋高等学校長	近藤 義行
12	特別支援学校	市立船橋特別支援学校長	神田 順子
13	小学校	小学校長会長(船橋小学校長)	野木 英表
14	中学校	中学校長会長(宮本中学校長)	太田 由紀
15	特別支援教育	特別支援学級設置校校長会 (丸山小学校長)	中道 恵美子
16	特別支援教育	特別支援教育研究連盟理事長 (行田東小学校長)	生井 敏昭
17	市教育委員会	教育次長	小栗 俊一
18	市教育委員会	学校教育部長	日高 祐一郎
19	市教育委員会	市総合教育センター所長	小川 欣弘

事務局	市総合教育センター教育支援室長	金子 勝一
事務局	市総合教育センター教育支援室副主幹	鰐部 裕実
事務局	市総合教育センター教育支援室副主査	白石 亜希子
事務局	市総合教育センター教育支援室副主査	宮崎 文香
事務局	市総合教育センター教育支援室副主査	横内 正隆
事務局	市総合教育センター教育支援室副主査	星野 沙織
事務局	市総合教育センター教育支援室副主査	武田 芳樹

資料4

令和7年 作業部会委員

No.	区分	所属・職名	氏名
1	委員	高根小学校長	阿部 義徳
2	委員	とらのこキッズ児童発達支援管理責任者	和久本 香
3	委員	船橋市放課後等デイサービス事業所 協議会会長	荒木 直也
4	委員	障害福祉課	佐藤 ひとみ
5	委員	保育運営課副主幹	長内 夕子
6	委員	地域保健課	橋本 美穂
7	委員	療育支援課副主査	藤井 洋平
8	委員	こども発達相談センター主任技師	樋口 美幸
9	委員	船橋中学校	佐藤 奈津子
10	委員	御滝中学校	中澤 紫野
11	委員	行田西小学校	飯田 紗弥香
12	委員	八木ヶ谷北小学校	山崎 真梨
13	委員	市立船橋高等学校	國澤 智美
14	委員	市立船橋特別支援学校	星野 美砂
15	事務局	総合教育センター教育支援室副主査	宮崎 文香
16	事務局	総合教育センター教育支援室副主査	横内 正隆
17	事務局	総合教育センター教育支援室副主査	白石 亜希子
18	事務局	総合教育センター教育支援室副主査	星野 沙織
19	事務局	総合教育センター教育支援室副主査	武田 芳樹
20	事務局	総合教育センター教育支援室副主幹	鰐部 裕実

令和 7 年度船橋市特別支援連携協議会 作業部会報告

1 テーマ

船橋市における関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実

2 令和 7 年度協議内容

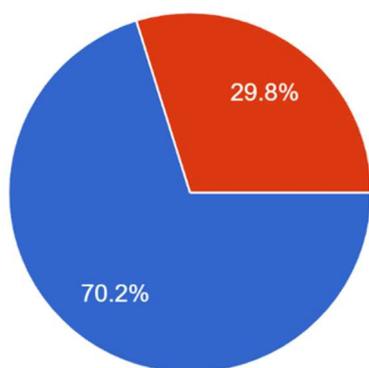
- (1) 「個別の教育支援計画 作成・活用の手引き」の内容について
- (2) 「個別の指導計画」の書式を見直す。
→チェックリスト・文例集を用いて作成の負担を軽減する。
- (3) 保護者向けリーフレットの内容の確認・検討をする。

3 今後に向けて

- (1) 「個別の教育支援計画 作成・活用の手引き」の周知。
- (2) 個別の教育支援計画と個別の指導計画の活用をスタートさせる。
併せて、チェックリスト・文例集も周知する。
- (3) 保護者向けのリーフレットをホームページに掲載・関係機関への周知。

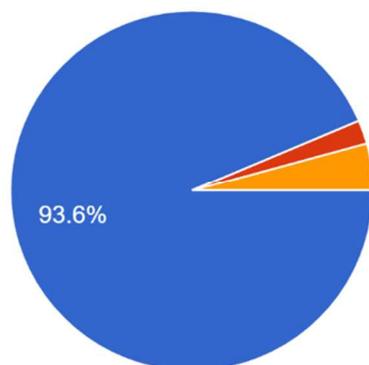
個別の指導計画の作成に関するアンケート

所属する学校種を選んでください



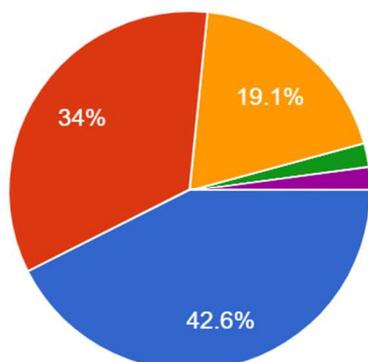
- 小学校 全 55 校中 34 校
- 中学校 全 26 校中 14 校

「個別の指導計画」の目的・内容・作成の手順等について、どのように職員間で共通理解を図っていますか



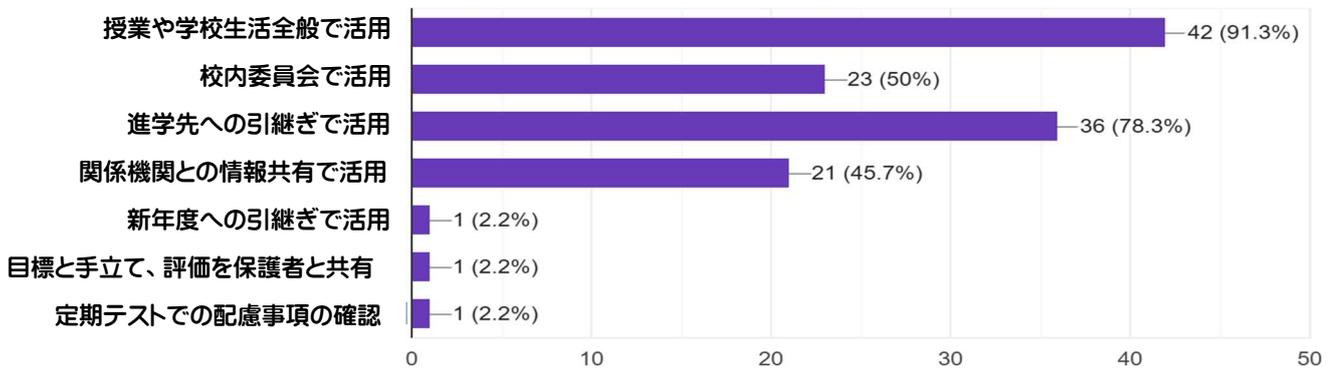
- 特別支援教育コーディネーターが職員会議や学年会等で説明している
- 校内に作成の手引書等があり、それを基に共通理解を図っている
- 作成の必要があるときに、その都度、校内委員会等で手順の確認をしている
- 特に共通理解を図っていない

通常の学級の担任が作成する場合、どのように作成していますか

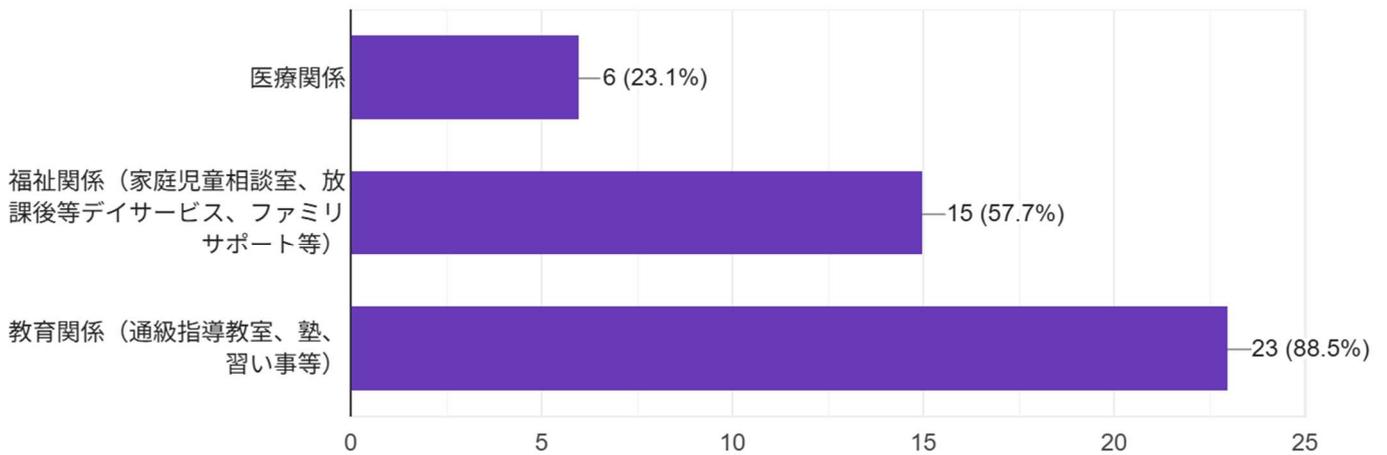


- 特別支援教育コーディネーターと相談しながら作成している
- 学年会等で相談しながら作成している
- 担任が一人で作成している
- 学年と、コーディネーターと相談しながら作成している
- 若年層は特別支援教育コーディネーターと作成することが多く、経験のある先生は一人で作成することが多い

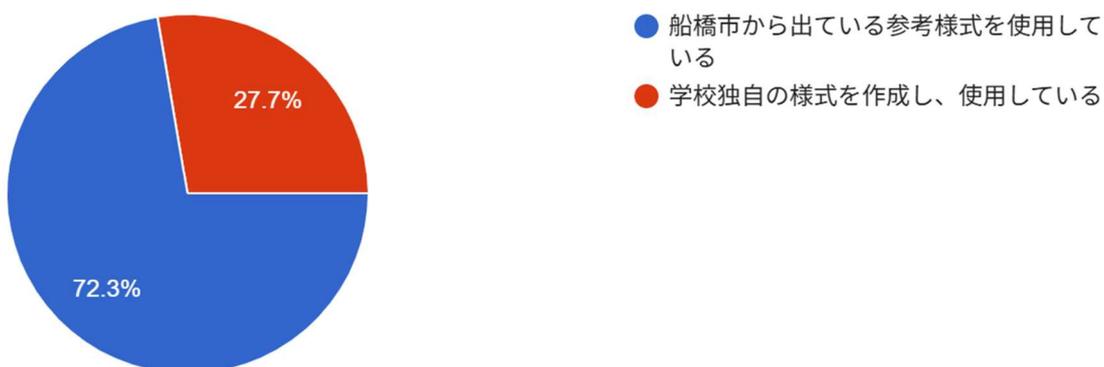
「個別の指導計画」をどのように活用していますか



関係機関との連携で活用している学校へお聞きします。どのような関係機関と連携していますか



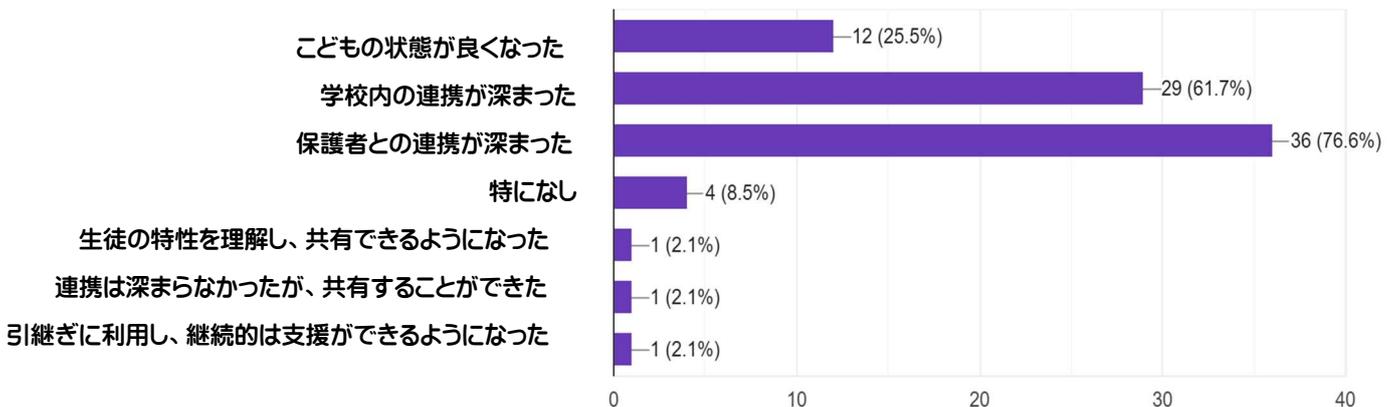
貴校の「個別の指導計画」の様式はどのようなものですか



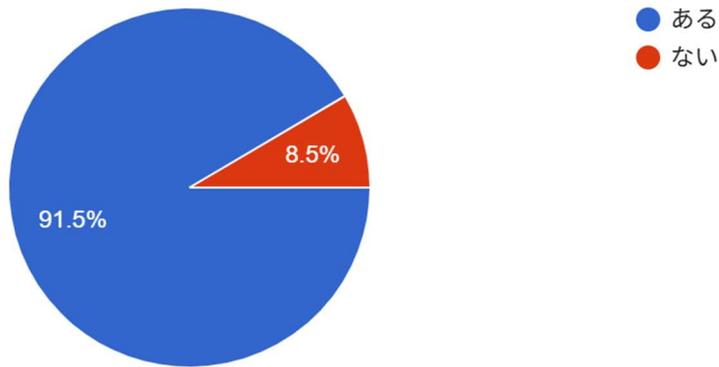
学校独自の書式を使用している理由をご記入ください

- ・昨年度までの形式を継続で使っています。来年度から市の様式に変更する予定です。
- ・引き継いだときに、その書式だったから。書きやすく先生方の負担も少ない。
- ・船橋市の様式を参考にしながら、一部分、学校の様子に合わせている。
- ・以前のデータを引き継いだため。急な変更に対応者が対応することができないため。
- ・代々引き継いでいるもので、特に不便がないため。
- ・前からずっと使っている様式をそのまま引き継ぎました。各学校で作るものだと思っていました。
- ・校内の実態を考慮し、職員が使いやすい形式を考えて作成した。
- ・例年、船橋市の書式を参考にして作成した様式を使用しています。
- ・市内の書式があることを知ったのが、新年度の全体共有をした後だったため今年度は変更しませんでした。昨年度まで使用していたから。
- ・船橋市の様式を参考に、支援方法について継続的に共有しやすいシートを作成した
- ・重複事項を避け、作成にかかる負担をできるだけ軽くしている。
- ・同じものを使い続けているから

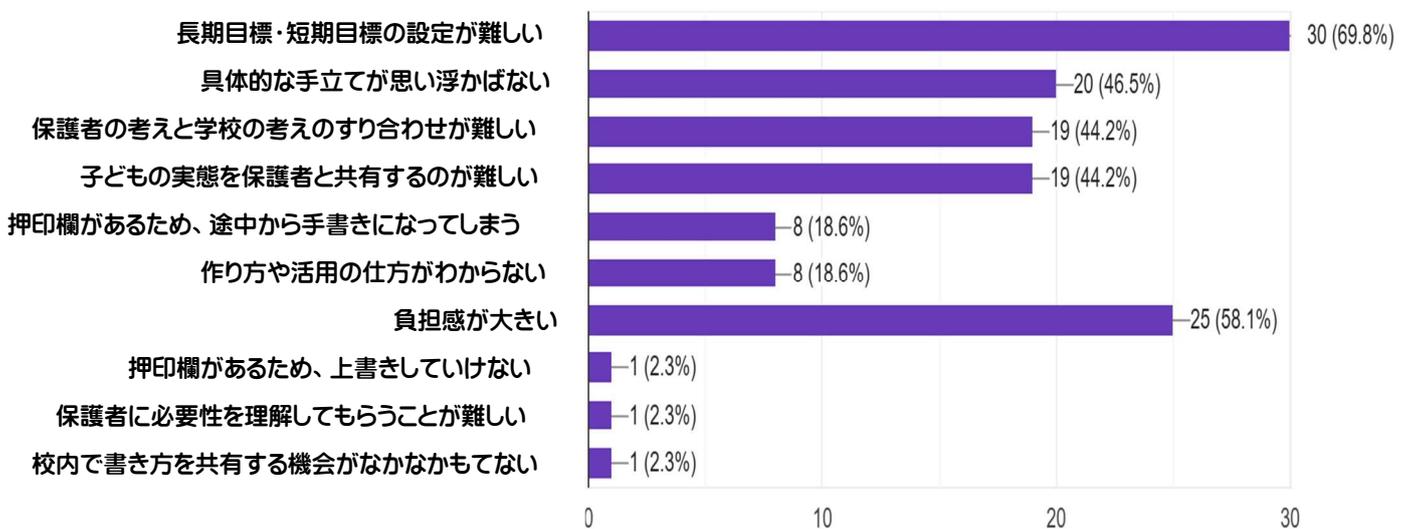
個別の指導計画を作成して、良かったことはありますか



個別の指導計画を作成するにあたって、難しさを感じたことはありますか



「ある」と答えた方へ、それはどんなことですか



個別の指導計画を作成するにあたり、何かご意見がありましたらご記入ください

- ・市や県から合理的配慮の事例集など出ていますが、具体的な手立てをのせた例があると、若手も作りやすいと思います。今年度出していただいた、個別の支援教育計画がとても参考になりました。
- ・市内で統一するだけでなく、デジタル化して欲しいです(担任の負担を軽減)。書き方や使い方に関して、ベテランから初任まで誰が見ても分かりやすく提示してあると書く時に困らないで済むと思います。
- ・市内共通の書式になっていくとのことで、支援コーディネーターとして相談・助言を受けやすくなる印象がある。形だけのものになると、ただ負担が大きいくだけで担任が作成するメリットを感じられなくなるので、実用的なものではない統一のものを作成、活用していただけるとありがたいです。
- ・記入欄が小さいので、計画を出す際には評価の欄を削り、評価を出す際には手立ての欄を削って活用している
- ・具体的な手立ての例がたくさんあると、近い事例から考えやすい。
- ・小学校から原本が引継ぎ資料として渡され、説明してもわかっていただけなかったため、船橋市としての引継ぎの仕方がわかりやすいような資料を作り、引継ぎシーズン前頃に各校に周知していただけると助かります。お手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。

資料 6

- ・保護者記入 1 枚、担任記入 1 枚程度に簡素化してほしい。また、特別支援級の支援計画も市内で統一してほしいです。
- ・明確な書式があるならば、それを使用するよう発信していただいた方が、初めて担当になった者にもわかりやすくありがたいです。
- ・1年生を担当して思ったことなのですが、引継ぎのための連絡票がある場合は個別の計画を作成しますが、連絡票がない場合、こちらから保護者にどのようなアクションをすればよいかを知りたいです。また、情緒面ではなく、知的な遅れがありそうな場合も、個別の計画を作成していった方がよいのかも教えていただきたいです。
- ・保護者向けの実態を話すのでありのままを話すことは難しいところがあります。
- ・作成が必要な児童だが保護者の理解が得られない場合の引き継ぎの資料が作れていない。
今年度より、市の様式を使用しています。入力する文章量によって、書式や2行目以降の文章が崩れてしまうのがネックです。
- ・小学校からデータで引継ぎをしてもらえると、中学校で継続的に支援ができると思います。(特に支援計画) ・小学校から中学校までの変化がわかるようにタブで学年の切り替えができるなど、同じフォルダにまとめられるとよいです。
- ・小学校では高学年になり、環境の不適応がなくなったり、自然に支援がされていて見られなくなっても、中学校という環境の変化でまた同じような不適応が出てくる場合があるので、作成していた場合や不適応の状況によって、保護者の承諾があれば引継ぎをしてほしい。 ・中学校では、高校受験を見据えて合理的配慮の記載が必要だと思います。特に定期テストの配慮(ルビふり、別室受検、時間延長など)は記載するようにしています。

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(小学校1・2学年用)

下記の項目を見て、あてはまる数値をクリックしてください。

*「ふつう」・・・学年相応と考えられるレベル

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 聞く						
① 個別に言われたことを理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3
② 集団の場面で言われたことを理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3
③ 聞き間違いや聞きもちがが少ない	○5	○4	●3	○2	○1	3
④ 話を聞いて学年相応に理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3
⑤ 友達同士の会話を聞いて理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			3.0			合計 15

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
2 話す						
① 自分の意志を大まかに言葉で伝えることができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
② はっきりした発音で言葉につまらないで話ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
③ 経験した出来事話すことができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
④ 単語の羅列でなく順を追って話すことができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
⑤ 友達と学年相応の会話をすることができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			2.6			合計 13

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
3 読む						
① ひらがな、カタカナが読める	○5	●4	○3	○2	○1	4
② 既習の漢字が読める	○5	●4	○3	○2	○1	4
③ やさしい読み物に興味を持って読める	○5	○4	●3	○2	○1	3
④ 語や文のまとまりを考えて、教科書の音読ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
⑤ 教科書を読んで内容が理解できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			3.8			合計 19

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
4 書く						
① ひらがな、カタカナが書ける	○5	○4	●3	○2	○1	3
② 長音・拗音・促音や、助詞の「は」「へ」「を」が正しく書ける	○5	●4	○3	○2	○1	4
③ 既習の漢字が書ける	○5	●4	○3	○2	○1	4
④ 形や大きさが整った字が書ける	○5	●4	○3	○2	○1	4
⑤ 簡単な作文が書ける	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			3.6			合計 18

1/4

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(小学校1・2学年用)

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
9 注意						
① 作品を最後まで仕上げることができる(できは問わない)	○5	○4	●3	○2	○1	3
② 自分の持ち物が片付けられる	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 提出物などをきちんと出せる	○5	○4	○3	●2	○1	2
④ 授業中他のことに気を取られずに集中できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
⑤ 日直など決まった仕事ならやりとげられる	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			2.4			合計 12

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
多動						
① 授業中席に着くことができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
② やたらに手足を動かしたり、もじもじしたりしない	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 体育館や運動場で勝手な動きをしない	○5	○4	○3	●2	○1	2
④ 必要な場面ではきちんとしていられる	○5	○4	○3	●2	○1	2
⑤ やたらに自分勝手なおしゃべりをしない	○5	○4	○3	●2	○1	1
平均			1.8			合計 9

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
衝動性						
① 割り込まないで順番を待つことができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
② ドッジボールや鬼ごっこなどルールに従って楽しめる	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 指名されるのを待って発言できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
④ 話を最後まで聞くことができる	○5	○4	○3	○2	●1	1
⑤ 困ったり怒ったりしても乱暴な言動をしない	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			1.8			合計 9

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
変化への適応						
① 急な予定変更があっても混乱しない	○5	○4	○3	○2	●1	1
② 校外学習など慣れない場面でも落ち着いていられる	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 自分のやり方にこだわらない	○5	○4	○3	○2	●1	1
④ やりたいことがあっても必要に応じてやめられる	○5	○4	○3	○2	●1	1
⑤ 嫌なことがあっても年齢相応の我慢ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			1.4			合計 7

3/4

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(小学校1・2学年用)

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
5 計算						
① 学年相応の数の意味や表し方がわかる	○5	●4	○3	○2	○1	4
② 学年相応の量の意味や表し方がわかる	○5	○4	●3	○2	○1	3
③ 学年相応の数量の比較ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
④ 順序について理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3
⑤ 足し算・引き算ができる	●5	○4	○3	○2	○1	5
平均			3.6			合計 18

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
6 推論						
① 簡単な事柄について数や図を用いて表すことができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
② などなどを理解し答えることができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 教科書を読んで場面の様子を想像することができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
④ 原因と結果の関係が理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
⑤ 場にあった行動がとれる	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			2.2			合計 11

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
7 粗大運動						
① 縄跳びやボール投げができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
② 学年相応の鉄棒やマット運動ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 走ることが極端に苦手ではない	○5	○4	●3	○2	○1	3
④ 運動会のダンスが踊れる	○5	○4	○3	●2	○1	2
⑤ 片足ケンケンができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			2.2			合計 11

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
8 微細運動						
① プリント等をきちんとたたむことができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
② はさみで簡単な形を切ることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
③ 粘土で作品を作ることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
④ はみ出さないように色を塗ることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
⑤ 箸を使ってこぼさないで食事ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			3.8			合計 19

2/4

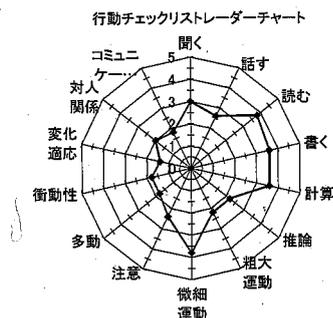
特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(小学校1・2学年用)

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
対人関係						
① 学校行事や集会に参加できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
② 友達と一緒に班活動に取り組める	○5	○4	○3	●2	○1	2
③ 休み時間や放課後に友達と遊ぶことができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
④ 友達と一緒に楽しんだり喜んだりできる	○5	○4	○3	●2	○1	2
⑤ ルールが理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			2.0			合計 10

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
コミュニケーション						
① 「貸して」「ありがとう」などが適切に言える	○5	○4	○3	○2	●1	1
② 大人となら一方的でない会話ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
③ 自分の気持ちを相手に伝えることができる	○5	○4	○3	○2	●1	1
④ やりとり遊びができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
⑤ 自然な会話ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			1.8			合計 9

各領域の平均得点

聞く	話す	読む	書く	計算	推論	粗大運動	微細運動	注意	多動	衝動性	変化適応	対人関係	コミュニケーション
3.0	2.6	3.8	3.6	3.6	2.2	2.2	3.8	2.4	1.8	1.8	1.4	2.0	1.8



資料 7

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(3~6学年用)

下記の項目を見て、あてはまる数値をクリックしてください。

* 「ふつう」・・・学年相応と考えられるレベル

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 個別の場面で話を聞いて理解できる	○5	●4	○3	○2	○1	3
2 集団の場面で話を聞いて理解できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 聞き間違いや聞きもらしが少ない	○5	●4	○3	○2	○1	3
4 話を聞いて学年相応に理解できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 友達同士の会話を聞いて理解できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			3.6			合計 18

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 相手や場面にに応じて必要なことが言える	○5	●4	○3	○2	○1	4
2 話し合いの際に学年相応の意見が言える	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 経験した出来事を順序よく話すことができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
4 言い間違いや言葉の使い方の間違いが少ない	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 友達と学年相応の会話をすることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			4.0			合計 20

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 ひらがな、カタカナが読める	○5	○4	○3	●2	○1	2
2 学年相応に漢字が読める	○5	○4	○3	●2	○1	2
3 読み間違いをしないで教科書の音読ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
4 教科書を読んで内容が理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
5 読むことを極端に嫌がらない	○5	○4	○3	○2	●1	1
平均			1.8			合計 9

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 長音・拗音・促音や、助詞の「は」「へ」「を」が適切に表記できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
2 学年相応の漢字が書ける	○5	○4	○3	●2	○1	2
3 板書を書き写すことができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
4 書写の作品が極端に見劣りしない	○5	○4	○3	●2	○1	2
5 学年相応の文章が書ける	○5	○4	○3	●2	○1	2
平均			2.0			合計 10

1/4

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(3~6学年用)

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 作品を最後まで仕上げることができる(できは問わない)	○5	●4	○3	○2	○1	4
2 自分の持ち物の管理ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 教室移動があっても必要なものを準備できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
4 授業中、他のことに気を取られずに集中できる	○5	○4	○3	●2	○1	2
5 係や委員会などで頼まれた仕事をやりとげられる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			3.6			合計 18

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 授業中勝手に席を離れない	○5	●4	○3	○2	○1	4
2 授業中やたらに身体を動かさない	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 必要な場面で、きちんと行動することができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
4 授業中、勝手なおしゃべりをしない	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 話題がめまぐるしく変わらない	●5	○4	○3	○2	○1	5
平均			4.2			合計 21

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 順番を待つことができる	●5	○4	○3	○2	○1	5
2 サッカーやバスケットなどルールに従って楽しめる	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 他人を妨害したり邪魔するようなことをしない	○5	●4	○3	○2	○1	4
4 話を最後まで聞くことができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 不満や怒りを年齢相応にコントロールできる	●5	○4	○3	○2	○1	5
平均			4.4			合計 22

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 急な予定変更が続いても対応できる	●5	○4	○3	○2	○1	5
2 慣れない教室でも落ち着いて学習ができる	●5	○4	○3	○2	○1	5
3 自分のやり方にこだわらないで行動できる	●5	○4	○3	○2	○1	5
4 状況に応じて活動を切り替えることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 嫌なことでもある程度我慢して取り組める	●5	○4	○3	○2	○1	5
平均			4.8			合計 24

3/4

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(3~6学年用)

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 学年相応の数の意味や表し方がわかる	○5	●4	○3	○2	○1	4
2 学年相応の量の意味や表し方がわかる	○5	○4	●3	○2	○1	3
3 学年相応の数量の比較ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
4 学年相応の計算ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
5 学年相応の計算を適切に用いることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			3.4			合計 17

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 学年相応の数量関係が理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3
2 なぞなぞを理解し答えることができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
3 物語の登場人物の心情を読み取れる	○5	○4	●3	○2	○1	3
4 結果を考えて行動できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 場にあった行動がとれる	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			3.2			合計 16

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 縄跳びやボール投げ、ドリブル等ができる。	○5	○4	○3	●2	○1	2
2 学年相応の器械運動ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2
3 走ることが極端に苦手ではない	○5	○4	●3	○2	○1	3
4 運動会のダンス(学年種目)が踊れる	○5	○4	●3	○2	○1	3
5 丸太渡りやタイヤ跳びができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			2.6			合計 13

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 必要な場面で紙をきちんと折ることができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
2 はさみで曲線が切れる	○5	○4	●3	○2	○1	3
3 コンパスや定規の操作ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
4 手を十分に働かせて小刀等の用具を工夫して使える	○5	○4	●3	○2	○1	3
5 給食の盛りつけができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
平均			3.2			合計 16

2/4

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(3~6学年用)

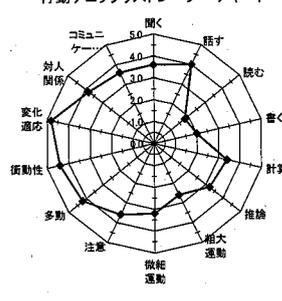
	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 学校行事や集いに落ち着いて参加できる	○5	●4	○3	○2	○1	4
2 友達と協力した班行動がとれる	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 休み時間に友達と一緒に遊べる	○5	●4	○3	○2	○1	4
4 友達と一緒に楽しんだり喜んだりできる	○5	●4	○3	○2	○1	4
5 まわりの雰囲気や状況に合わせた行動がとれる	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			3.8			合計 19

	かなりよくできる	よくできる	ふつう	できないことがある	全くできない	値
1 相手や状況に合わせた言葉遣いができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
2 友達と一方的でない会話ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
3 自分の気持ちを相手に適切に伝えることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4
4 相手の興味や関心に合わせた会話ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3
5 冗談や嫌みが通じる	○5	○4	●3	○2	○1	3
平均			3.6			合計 18

各領域の平均得点

聞く	話す	読む	書く	計算	推論	粗大運動	微細運動	注意	多動	衝動性	変化適応	対人関係	コミュニケーション
3.6	4.0	1.8	2.0	3.4	3.2	2.6	3.2	3.6	4.2	4.4	4.8	3.8	3.6

行動チェックリストレーダーチャート



資料 7

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(中学生用)

下記の項目を見て、あてはまる数値をクリックしてください。
*「ふつう」・・・学年相応と考えられるレベル

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
1 聞 く	① 一斉の指示を聞いて理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 3つぐらいの指示なら一度に言われても理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	③ 聞き間違いや聞き返しが少ない	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	④ 長い話を聞いても学年相応に理解できる	○5	○4	○3	○2	●1	1	
	⑤ 学級や班での話し合いを聞いて理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
平均						1.8	合計	9

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
2 話 す	① 日常生活に必要な場面で必要なことが話せる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 授業中に学年相応の発言ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	③ 相手にわかるように詳しく説明することができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	④ 自分の意図が伝わるように工夫して話ができる	○5	○4	○3	○2	●1	1	
	⑤ 友達と学年相応の会話を続けることができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
平均						1.8	合計	9

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
3 読 む	① 学年相応の漢字が読める	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	② 短文の理解や記述してある事実の理解ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	③ 教科書を読み飛ばしや読み間違いをしないで音読できる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	④ 教科書の文章の内容が理解できる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 英語の教科書の音読ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
平均						2.8	合計	14

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
4 書 く	① 学年相応にかなや漢字が書ける	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 自分の考えが伝わるように作文を書ける	○5	○4	○3	○2	●1	1	
	③ 必要な場面では、形や大きさが整った文字が書ける	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	④ アルファベットが書ける	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 英語が書ける	○5	○4	●3	○2	○1	3	
平均						2.2	合計	11

1/5

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(中学生用)

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
9 注 意	① 作品を最後まで仕上げることができる(できは問わない)	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 自分の持ち物の管理ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ 学習に必要なものの準備ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	④ 係や委員会の仕事をやりとげられる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ テストでうっかりミスが少ない	○5	○4	○3	●2	○1	2	
平均						2.4	合計	12

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
※ 多 動	① 授業中勝手に席を離れない	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 授業中やたらに身体を動かさない	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ 周囲の様子を見ながら落ち着いて行動できる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ 授業中、必要以上にしゃべらない	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 話題がめまぐるしく変わらない	○5	○4	●3	○2	○1	3	
平均						3.0	合計	15

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
※ 衝 動 性	① 順番を待つことができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 団体競技などルールを守って取り組むことができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ 他人を妨害したり邪魔するようなことをしない(悪意でなく)	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ 話の途中で割り込んだりしないで、人の話を聞ける	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 不満や怒りを年齢相応にコントロールできる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
平均						3.2	合計	16

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
※ 変 化 へ の 適 応	① 急な予定変更が重なっても対応できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 校外学習など初めての場面でも落ち着いて行動できる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ パターン化された行動や手順にこだわらないで行動できる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ 相手や状況に合わせて活動を切り替えることができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 嫌なことでも、必要に応じて我慢できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
平均						2.8	合計	14

3/5

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(中学生用)

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
5 計 算	① 整数の四則計算ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	② 小数の四則計算ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	③ 分数の四則計算ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	④ 正負の数の計算ができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	⑤ 代数が理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
平均						2.2	合計	11

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
6 推 論	① 学年相応の数量関係が理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 学年相応の方程式や証明問題が解ける	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ 人物の心情など学年相応に理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	④ 実験の予測や、結果の意味が学年相応に理解できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	⑤ 結果を予測した判断が学年相応にできる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
平均						2.4	合計	12

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
7 粗 大 運 動	① 縄跳びやキャッチボールができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	② 学年相応の器械運動ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	③ サッカーやバスケットなどの競技ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ 学年相応のダンスあるいは組み体操ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 徒競走や持久走が学年相応にできる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
平均						3.8	合計	19

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
8 微 細 運 動	① 端に気をつけながらプリントを折ることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	② はさみで曲線等を正確に切ることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	③ コンパスや分度器、定規の操作ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ 工具を使用して学年相応の作品を作ることができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 給食当番で配膳ができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
平均						3.8	合計	19

2/5

特別な教育的ニーズをもつ子どものための行動チェックリスト(中学生用)

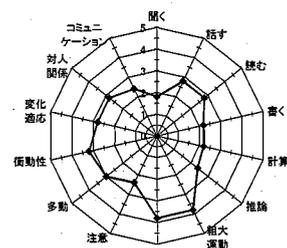
	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
※ 対 人 関 係	① 学校行事や集会に落ち着いて参加できる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 学年相応の班活動に取り組める	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ 学年相応の共感ができ、仲間関係が作れる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ まわりの雰囲気や状況に合わせた行動がとれる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 異性と適切な距離がとれる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
平均						2.8	合計	14

	かなりよ くできる	よ くできる	ふ つ う	でき ない こと が多 い	全 く でき ない	値		
※ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	① 相手や状況に応じた言葉遣いができる	○5	○4	○3	●2	○1	2	
	② 仲間と一方的でない会話ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	③ 自分の気持ちを相手に伝えることができる	○5	●4	○3	○2	○1	4	
	④ 相手の興味や関心に合わせた会話ができる	○5	○4	●3	○2	○1	3	
	⑤ 冗談や皮肉の意味が理解できる	○5	○4	○3	○2	○1	0	
平均						2.4	合計	12

各領域の平均得点

聞く	話す	読む	書く	計算	推論	粗大運動	微細運動	注意	多動	衝動性	変化適応	対人関係	コミュニケーション
1.8	2.8	2.8	2.2	2.2	2.4	3.8	3.8	2.4	3.0	3.2	2.8	2.8	2.4

行動チェックリストレーダーチャート



資料 7

4/5

個別の教育支援計画・個別の指導計画

フリガナ 氏名	
------------	--

学校名 _____ 小学校

_____ 中学校

作成日	学年	作成者名 (印)	校長名 (印)	個別の 教育支援 計画 保護者 (印)	個別の指導計画		
					前期 保護者 (印)	後期 保護者 (印)	年度末 保護者 (印)
年 月 日	1年						
年 月 日	2年						
年 月 日	3年						
年 月 日	4年						
年 月 日	5年						
年 月 日	6年						
年 月 日	1年						
年 月 日	2年						
年 月 日	3年						

※印はサインでも可

○この計画に記載されている情報を支援関係者(放課後等デイサービス等も含む)と共有することに同意します。

○転居等で転校した場合は、転校先の学校へ提出することを了承します。

保護者氏名 _____ 印

様式 I

個別の教育支援計画

①プロフィール<保護者記入欄>

※この用紙は、その都度追記して使用します。

フリガナ 氏名		記載日	令和 年 月 日
フリガナ 保護者氏名		生年月日	平成・令和 年 月 日
諸検査の 記録	<u>H・R 年 月 日</u> ※次回以降の記録は②へ WISC-IV・WISC-V・田中ビネー・新版K式・その他() 検査結果:		
手帳の有無 等級	有・無 判定日 <u>R 年 月 日</u> 次の更新日 <u>R 年 月 日</u> <input type="checkbox"/> 療育手帳 ④・Aの1・Aの2・Bの1・Bの2 ※次回以降の記録は②へ <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 ()級 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 ()級		
関係機関 との 連携状況	【医療関係機関】 医療機関名: 病名、診断名()		
	【教育等関係機関】 <input type="checkbox"/> 船橋市総合教育センター <input type="checkbox"/> サポートルーム <input type="checkbox"/> 通級指導教室(言語・発達・難聴・視覚・肢体) <input type="checkbox"/> その他()		
	【放課後の過ごし方】 <input type="checkbox"/> 習い事・部活等() <input type="checkbox"/> 放課後ルーム <input type="checkbox"/> ふなっこ教室(放課後子ども教室)		
	【保健・福祉関係機関等】 <input type="checkbox"/> ライフサポートファイル <input type="checkbox"/> 保健センター <input type="checkbox"/> 子ども発達相談センター <input type="checkbox"/> 児童相談所 <input type="checkbox"/> こども家庭センター <input type="checkbox"/> 相談支援 <input type="checkbox"/> 移動支援 <input type="checkbox"/> 日中一時支援 <input type="checkbox"/> 児童発達支援() <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス() <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援 <input type="checkbox"/> 居宅訪問型児童発達支援 <input type="checkbox"/> 障害福祉サービス事業所()		
配慮事項	<input type="checkbox"/> 医療的ケア() <input type="checkbox"/> 車いす等、身体面での配慮 <input type="checkbox"/> その他()		

将来の生活・現在の生活についての希望(本人や保護者)

※この様式は船橋市のホームページからダウンロードできます。



②校外の機関と連携した支援<保護者記入欄> ※この用紙は、その都度追記して使用します。

【医療関係機関】

【教育等関係機関】

【放課後の過ごし方】

本人の支援

【保健・福祉関係機関 等】

【手帳・諸検査等更新】

【 】

※この様式は船橋市のホームページからダウンロードできます。



様式3

③支援について<小学校担任記入欄>

支援内容と方法(合理的配慮を含む)		
学年	本人、保護者からの申し出	支援内容・合意形成の内容
1年		
2年		
3年		
4年		
5年		
6年		

様式3

③支援について<中学校担任記入欄>

支援内容と方法(合理的配慮を含む)		
学年	本人、保護者からの申し出	支援内容・合意形成の内容
1年		
2年		
3年		

令和 8 年度の検討課題

1 令和 7 年度 連携協議会

(1) 成果

作業部会
<p>船橋市における関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実をテーマに下記の内容について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画 作成・活用の手引き」の内容について検討した。 ・「個別の指導計画」の書式の見直し。チェックリスト・文例集を活用し、作成者の負担の軽減できるようにした。 ・保護者向けのリーフレットの内容の確認・検討をした。

(2) 課題

<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画 作成・活用の手引き」や文例集については、今後も内容の検討が必要である。 ・事業者における合理的配慮の提供の義務化に伴い、船橋市における関係機関との連携強化による切れ目ない支援を、より充実をさせていく必要がある。
--

2 令和 8 年度 連携協議会

(1) 作業部会テーマと論点 (案)

作業部会
船橋市における関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実

(2) 具体的な検討内容



作業部会
<p>関係部署と連携し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画 作成・活用の手引き」について内容の検討 ・チェックリストを基に文例集を作成者が活用しやすいものにしていく



乳幼児期から学校卒業後までの一貫した支援ネットワークづくり

令和8年度 船橋市特別支援連携協議会及び作業部会の予定

